



# No.6

# 東京都豊島区

## I. 基本情報

### 主な活動種別

琴、茶道、茶華道

(運営主体) 豊島区教育委員会  
駒込中学校PTA  
駒中おやじの会

(事業目標) ・地域に活動の場を広げ、披露または参加を継続的に行うことで、段階的に地域の活動としていく。  
・地域人材による指導や運営により、教員の従事時間を軽減する。  
・持続可能な継続的サポート体制を構築する。

## 団体・組織等の連携

- ・豊島区教育委員会が指導者の派遣や謝金の対応を行う。
- ・区民ひろば駒込・区民ひろば仰高・地域文化創造館・駒込福祉作業所等の協力により披露・参加の発表の場を設け地域に発信・還元する。
- ・地域の駒中おやじの会や駒込中学校PTAが管理や発表会の運営・運搬等のサポートを行う。

## II. 活動概要

- ・週あたり琴2回・表千家茶道1回・裏千家茶華道1回、週休日の練習・演奏会のうち、平日は週2回と週休日は月2回を地域の人材を活用して指導・運営を行う。
- ・夏（納涼）と冬（新春）の発表会を開催し、季節毎の発表会を行う。

## III. 成果・課題

### 本事業による成果

- ・平日における指導は、週4時間、年間延べ80時間の削減となった。また、披露の場の活動や引率における指導が年間8回で延べ16時間の削減となった。
- ・週休日の発表時においては、1回につき3部延べ7時間の削減となり、準備も含めた教員の関わりが軽減した。
- ・日本文化発表会においては、会場設営や準備等の運営をおやじの会が主体で行い、生徒が進行を務め、保護者や地域の方に発表をした。
- ・区民ひろば駒込と区民ひろば仰高において、茶道部と茶華道部の体験や披露の機会を設定し、参加者募集の掲示を行い、地域の方に参加いただく活動をそれぞれ4回ずつ行った。（感染症拡大のため一部は中止）
- ・校内の活動時は教員の勤務時間を超えてPTAやおやじの会がサポートする予定であったが、感染症の拡大により、部活動の時間短縮や自粛期間が長く、十分に実施できなかった。
- ・おやじの会引率・運搬予定であった駒込福祉作業所での新春演奏会は感染症拡大時期となり中止した。

### 指導、運営上の工夫

- 児童・生徒への指導に関する工夫
  - ・平日の活動時間を教員の勤務時間の17時までとしていた茶道などは地域のサポートにより1時間延長した。
  - ・琴のメンテナンス等は理解を得て外部指導員に一任することができた。
  - ・今後、運搬等のサポートも得ていく。
  - ・茶華道で指導者の知人の指導への協力が得られた。
  - ・琴でも指導者の知人や成人した卒業生の協力を得られる可能性がある。
  - ・発表会に向けた練習回数を地域のサポートの調整により、増やして実施できる。
  - ・活動を広げることで、地域から琴や花器の寄贈があった。
- 運営上の工夫
  - ・外部人材の指導者が全活動時の指導に関わることができ、生徒への十分な指導を行うことができる。
  - ・平日の活動では指導者が放課後より少し早く準備いただき、勤務時間終了後の活動をサポートいただくことで、部員である生徒の2時間の活動時間を確保できる。
  - ・年度当初の部活動紹介において、外部指導者が全校生徒に向けて話し、掲示物でも募集を行った。
  - ・教員はPTA会長と連絡を取り希望の人数等を伝えることで、会長からPTAやおやじの会のメンバーリストにより周知やサポート人員の確保を行っている。

### 今後に向けた方針・方向性

- ・夏（納涼）と冬（新春）に発表会を地域のサポーターにより開催、いずれ季節毎の発表会としていく。
- ・区民ひろばや町会の掲示板に活動への参加者募集の広報を行い、地域の方に参加いただく活動を今年度は4回ずつ予定したが、運営上サポートの無理のない範囲で回数を増やす。（毎月1回ずつ実施する等）
- ・おやじの会の提案により、染井西福寺や駒込日枝神社（駒込山王会館）での披露や練習を計画していく。
- ・教員は活動日程の把握や連絡を行い、活動時は全時間参加いただける外部指導員に任せ、必要に応じてサポートを依頼する体制を整える。
- ・ソメイヨシノの発祥地であり、六義園や染井墓地などの日本文化を地域の特色としており、その地域の中で、生徒が発表会等を開き、地或に発信することで、地域の特色に還元するとともに「地域の中の部活動」として成長させていく。